

入居企業紹介 その128

SICに入居されている企業様をご紹介します。

SIC-1 316

株式会社ER SYSTEMS

「本当に役に立つものづくりを世界へ。」



【代表プロフィール】

株式会社 ER SYSTEMS

代表取締役 原 真吾 (1982年生まれ 33歳)

佐賀県唐津市生まれ、神奈川県愛甲郡愛川町育ち、相模原市在住
SIC 燃料電池研究会 会員

幼いころから“未知の世界”への探求心にあふれていたという原さんは、天文学者になるのが夢でした。今も星景写真の撮影が趣味で、国立天文台のある野辺山や富士山などに行かれるそうです。3歳のころから水泳を、中学・高校時代はバレーボール部に所属し、ポジションはアタッカーでした。工学院大学工学部環境化学工学科で学ばれたのち、エネルギー関連の研究の道を進まれてきました。

【入居のきっかけは？】

2013年に独立し、それまでの水素の貯蔵、鉄道車両用水素発生システム、携帯型燃料電池、リチウム系バッテリー、自然エネルギー発電、海水対応浄水器、LEDなど様々な研究開発やプロジェクトマネージメントの経験をもとに事業を始めました。相模原市や町田市の企業と共同研究・事業を行っていることからSIC内に拠点を置くことがベストの選択だと考え、翌年にDesk@に入会して「株式会社 ER SYSTEMS」を設立、昨年3月にスモールオフィスに移転しました。

【事業紹介】

社名の由来はEmergency Response (非常事態対応) で、災害時や救急などの非常時に必要となるエネルギーや水、照明に関連する開発などを行っています。

エネルギー分野では、オンサイト型水素蓄エネルギーシステムにおいて中核的な機構となる「固体高分子型電解スタック」の研究開発を進めています。これは東京大学の研究成果である「貴金属不使用の触媒」を用いるもので、水の電気分解を効率的に行うための電解セルの大型化、積層化やコントロールモジュールを開発し、高性能で低コストなシステムの実現を目指しています。



小型燃料電池制御基板

また、特殊な現場で使用する機材などを収納するキャリングツールの受託製作の事業も行っています。それぞれの利用シーンで使いやすく、しかも耐久性や強度、軽量を兼ね備えたプロフェッショナル仕様のバッグやポーチは経験豊富なデザイナーと職人との提携により、少ロットから対応が可能です。



特殊スリングベルト



アルコール検知器用バック

【これからの夢または目標は？】

「いつか自分が作ったものを宇宙に送り込みたい」と、幼少期からの夢にも重なる目標をもって今の事業に取り組んでいます。

研究の現場では、実社会とはかけ離れたことを対象にすることが当たり前でしたが、東北地方太平洋沖地震が起きて初めて「今自分がやっていることは社会に直結しているのか？」という思いに駆られました。

災害や救急などの非常時や極限環境（南極、宇宙）にこそ高い性能や、機能、使い易さが必要です。海外勢に押されている市場環境ではあるが、日本の技術をもってすれば世界市場に打って出られる製品作りが出来るはずだと考え、その一翼を担うため、事業パートナーの方々とともに“社会とつながり”を感じられる仕事をこれからも広げていきます。

株式会社 ER SYSTEMS

SIC-1 316 号室

TEL : 042-703-1655

mail : info@ersystems.co.jp

http://www.ersystems.co.jp/

入居企業ピックアップ

○今月の掲載記事紹介○

1月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、ご覧ください。

- 1月11日(月) **高瀬総合法律事務所** **かながわ経済新聞** - 現地雇用の注意点は?①-
- 1月11日(月) **BA合同会社** **かながわ経済新聞** - 鼻呼吸専用のテープ開発-

ご案内



日本のモノづくりが支える 鉄道産業

～いざ、グローバル市場へ～



現在、環境問題や新興国の経済発展を背景に大量輸送が可能な高速鉄道の需要が世界的に大きく拡大しています。また、在来線においても日本の鉄道車輛が発展途上国に輸出されるなど、メンテナンスやオーバーホール分野など日本の鉄道技術を必要とする新しいビジネスチャンスが広がっています。

我が国においてはドメスティックな産業であった「鉄道」が長年培った技術を武器に世界に進出しようとする中、既に台湾や英国への進出が実現し、米国、アジア、アフリカへの輸出も現実味を帯びるなどグローバルな産業に成長する鉄道産業について、大手鉄道メーカーの(株)日立製作所様や鉄道産業に進出した地域中小企業様にご講演いただき、中小モノづくり企業の進出を考えます。

● 内 容

- 株式会社アイスリー 代表取締役 石井 正一氏
「カラクリ技術のファブレスメーカー
～建築用ドア装置開発メーカーから鉄道産業へ～」
- 株式会社MEMOテクノス 代表取締役 渡邊 将文氏
「お客様の『したい』を『カタチ』にするモノづくり
～公共交通機関向け自動放送システムで鉄道業界を席巻～」
- 有限会社光製作所 代表取締役 丸山 裕司氏
「高いプレス加工技術で鉄道業界へ!
～進化型モノづくり企業の挑戦～」
- 株式会社日立製作所 交通システム社 笠戸事業所 副事業所長 荒川 賢一氏
「日立が進める鉄道車両の生産改革とグローバル化
～今までとこれから～」

● 開催日時 平成28年2月10日(水)
16時30分～20時

● 会 場 サン・エールさがみはら ホール
● 募集人数 150名 ● 入場無料

● お申し込み・お問い合わせ先: SIC-1 担当 山本・磯田



《SIC ミニセミナー The HINT 28!》

「法務」

- 講 師 弁護士法人高瀬総合法律事務所 代表 弁護士 高瀬 芳明氏
- 開催日時 平成28年3月15日(火) 17時～18時30分
- 会 場 SIC-2 大会議室(A)
- 費 用 無料
- お問い合わせ先 SIC-1 担当 五島



※詳細は後日ご案内いたします。

お知らせ

《平成27年度

さがみロボット産業特区ロボット展 公募型「ロボット実証実験支援事業」・ 重点プロジェクト事業報告会》



神奈川県では、「さがみロボット産業特区」の取組によって、生活支援ロボットや、介護支援ロボット等の実用化・普及を通じた地域の安全・安心の実現を目指しています。

このたび、平成27年度に公募型「ロボット実証実験支援事業」と重点プロジェクトとして支援しているプロジェクトの報告会を開催いたします。当日は、プロジェクト支援企業様による展示やデモ、体験会を行います。参加は無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしております!

● 開催日時 平成28年2月16日(火)
10時～16時30分

● 会 場 ユニコムプラザさがみはら セミナールームH
● お申し込み ホームページからお申し込み頂けます
● お申込み・お問合せ先 担当 SIC-1 磯田

※なお、当日は10時30分から、会場内ミーティングルーム4において、7つのプロジェクトの実証実験について口頭発表をおこないます。こちらもぜひご参加ください! ※申込は不要です

※詳細はホームページをご覧ください



《第10回創・蓄・省エネフォーラム かながわ環境関連産業ネットワーク》

さがみはら産業創造センター(SIC)では、神奈川県の協力のもと平成24年度からエネルギー及び環境関連産業の更なる振興を図る目的で「創エネ・蓄エネ・省エネに関わるフォーラム」を開催して参りました。これら計9回のフォーラム開催の中でも、とりわけ水素・燃料電池に関わる内容の開催のご要望が多く、参加者皆様のご期待に副う意味でも、平成27年度においてはこれに特化し、燃料電池自動車、エネファーム及び様々な用途展開を進めている燃料電池開発メーカー様、あるいは大学・研究機関の方々をお招きしてのフォーラム開催などを計画しております。

今回は下記フォーラムを開催致しますので、ご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

● 内 容

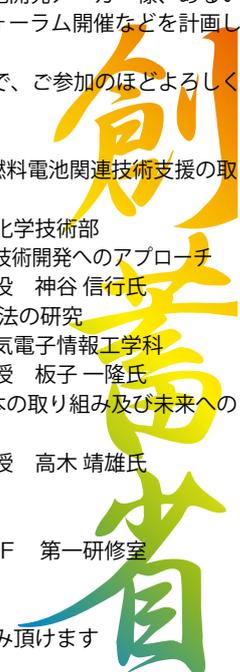
- 神奈川県産業技術センターにおける燃料電池関連技術支援の取り組み
講師: 神奈川県産業技術センター 化学技術部
- 電気化学的手法による水素・燃料電池技術開発へのアプローチ
講師: 株式会社Kmラボ 代表取締役 神谷 信行氏
- 燃料電池の最大効率点検出(MEPD)法の研究
講師: 神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科 教授 板子 一隆氏
- 水素エネルギーの世界的な動きと日本の取り組み及び未来への用途開発について(仮)
講師: 東京都市大学 名誉教授 高木 靖雄氏

● 開催日時 平成28年3月8日(火)
14時～17時30分

● 会 場 サン・エールさがみはら 2F 第一研修室
● 募集人数 80名(社)(先着順) 無料

■ 参加申込み期限: 3月4日(金)

● お申し込み ホームページからお申し込み頂けます
● お問合せ先: 担当 永井



【ゴミの出し方について】



ゴミ出しの分別方法について、《SIC ゴミの出し方(保存版)》を作成しました! 掲示していただきご協力をお願い致します。

編集後記

暖冬と予報されていた今年の冬ですが、先月は最強寒波の到来で沖縄県に初のみぞれを観測しました。年々夏冬の気候が激しさを増して、これから地球はどうなるのか気になります。さて、2・3月はフォーラム等の開催を数多く予定しております。お時間がございましたらぜひご参加ください。お待ちしております!

岳田